

NO 128

平成26年 7月1日

北海道碎石だより

一般社団法人日本碎石協会北海道地方本部

札幌市中央区南1条西10丁目 ☎011-241-4579

おめでとうございます

北海道経済産業局長表彰



5月22日(木)、平成26年度(一社)日本碎石協会北海道地方本部通常総会の席上において、北海道経済産業局長表彰の授与式が行われました。旭川支部の奈江採石協同組合奈江事業所が優良採石事業所として、北海道産業局増山壽一局長から高瀬秀樹理事長に表彰状が授与されました。

(一社)日本碎石協会北海道地方本部長表彰



小樽支部・宮本土建工業㈱代表取締役社長、宮本義久氏が(一社)日本碎石協会北海道地方本部長表彰(業界功労者)を受賞されました。宮本義久氏は小樽支部副支部長を平成9年に就任して以来、16年間に亘り碎石業界の振興発展と支部協会員に多大な貢献をされたことに対し、岡本本部長より表彰状が授与されました。

平成二十六年

一般社団法人日本碎石協会

通常総会終了（東京都）

（一社）日本碎石協会通常総会が六月二日、東京都浜松町ホテルアジュール竹芝で会員、賛助会員多数の出席のもと開催されました。

井上会長は開会挨拶で、政府のアーベノミックス効果への期待感やデフレ克服への見込みも徐々に高まってきている。平成26年度の公共事業関係予算については、巨大地震に備えたインフラ防災、減災対策や老朽化施設の更新対策を強化する内容となっており、長く続いた需要の低迷で非常に厳しい状況におかれていた碎石業界にとって、ようやく先行きに期待がもてる状況になってきたのではないかと思っている。

今年度末には労災保険料率の見直しが行われる予定であり会員事業所においては労働安全に万全を期して作業されていると思うが、残念ながら、昨年度は死亡災害で三名の尊い命を失い、新年度に入っても死亡災害が発生している。労働災害の多発は労災保険料率に大きく影響を与えるだけでなく、なによりも人命が奪われることにより、遺族、会社にとって、精神的・経済的にも

多大な被害がもたされることになる。協会は、長年「労働災害撲滅」を訴えてきたが、未だ死亡事故ゼロの年はありません。このことから、今年度は労働災害撲滅のために新たな取り組みをしていく必要があると考えております。また、軽油引取税課税免除措置の適用が今年度末となっており、碎石業界は免税措置により多大な恩恵をうけている。この措置が廃止となった場合は、業界全体が一層苦しい状況に陥るのは必至であります。

協会は、関係省庁、与党税調幹部への要望、中小企業団体中央会への要望活動など様々な活動を行って何としても更なる延長を実現させなければなりません。そのためには業界が一丸となってこの問題に取り組む必要があります。会員各位のご理解ご協力をお願いする次第です。本総会に提案させて頂く各種の事業活動により一層のご協力をお願いするとご挨拶を結ばれた。

総会には、北海道地方本部から岡本本部長、辻副本部長、毛利事務局長の三名が出席しました。

一般社団法人日本碎石協会

北海道地方本部

通常総会開催される（札幌）



（一社）日本碎石協会北海道地方本部通常総会が、五月二十二日（木）、会員、賛助会員、ご来賓のご出席のもと盛会に開催しました。

岡本本部長は総会開催にあたり、昨年度を顧みますと、政府はデフレ経済から脱却のため、補正予算、本年度予算で公共事業費を大幅な増額を打ち出しました。

長引く不況の中、懸命な自助努力で事業経営してきた碎石業界にとっては明るい兆しでありましたが、原油価格の高止まり、円安経済による資材・機材の値上がり、さらには電気料金の値上がりから生産原価が上昇し、政府の経済対策効果は我々末端の業者まで届いていないのが現実でないかと感じています。新年度予算も補正予算を含めて昨年度とほぼ同様の規模となっており、その経済効果が我々末端業者まで届くことを願う次第であります。

労働安全については、昨年度は全国で死亡災害が3件発生し、新年度に入って2件の死亡災害が発生しております。会員各社におかれては、リスクアセスメントの導入や危険予知訓練を行い、安全対策を強化して頂き、その結果が、労災保険料率の引き下げに繋がることが望ましいと考えています。

また今年度は、軽油引取税課税免除措置継続措置の最終年度であり、軽油引取税課税免除措置が廃止されることは我々採石業にとって死活問題であることから、道本部は他の骨材業界とも連携し、継続に向けて活動することを表明されました。このあと、議長に渡辺副本部長を指名し議案審議の結果、提案されたすべての議案が原案どおり承認されました。

通常総会に引続き、平成26年度北海道経済産業局長表彰並びに（一社）日本碎石協会北海道地方本部長表彰が行われ、北海道経済産業局長表彰優良採石事業所に旭川支部奈江採石協同組合奈江事業所に対して増山局長から表彰状が授与されました。

また、（一社）日本碎石協会北海

道地方本部長表彰業界功労者として、小樽支部副支部長宮本義久氏が岡本本部長から表彰状を授与されました。昨年、急逝された前安全・登録講師の杉野巨様には奥様の恵子様にも、後日表彰状をお届け致しました。

全国国有林採石協会

通常総会終了

全国国有林採石協会通常総会が六月六日（金）、東京都千代田区ホテルメトロポリタンエンドモンドで会員、賛助会員多数出席のもとで開催されました。

塚田会長は開会挨拶で、当協会は社会資本の整備に不可欠な基礎資材である砕石を安定的かつ継続的に供給する等、地域の発展や公共の福祉に寄与してきたところです。

これまで公共事業の減少によりわが業界には長らく不景気風が吹き荒れていた。平成25年度になり「デフレ」からの脱却を目指して金融緩和や国土強靱化を掲げた経済政策で経済は回復傾向にあると言われていますが本格的な回復までは至っていない状況であると感じており、引き続き経済対策でわが業界にもフオローの風が吹くことを期待するところです。

国有林野内で事業を展開している当協会は、公益的機能の發揮をより重視した森林整備を進める国有林野事業の実態に鑑み、従来にも増して他の模範となる自然環境に配慮した事業の実施と跡地の緑化を積極的に行って頂きたい。

採石事業を行っていくためには地域の理解と協力が必要であり、採石事業のイメージアップを図る取組も行って頂きたいと挨拶された。総会には辻会長、引網副会長、毛利専務理事の三名が出席されました。

北海道国有林採石協会

通常総会開催される

北海道国有林採石協会通常総会が、五月二十二日（木）、札幌東急インで会員、ご来賓の出席のもと盛會に開催しました。

辻会長は総会開催にあたり、昨年、政府はデフレ脱却のため、補正予算、経常予算で公共事業費の大幅増額を打ち出しました。厳しい経営



状況にあった我々骨材業界にとって明るい話題であったと考えておりますが、燃料価格の高止まり、円安による機材・資材の値上がり、電気料金の値上げ等から砕石生産原価がアップしており、必ずしも政府の経済対策の効果が中小企業まで行き届いておらず、デフレからの脱却は道半ばであると考えているところです。

私たち協会員は、国有林を事業現場としており自然環境に配慮した採掘や採石跡地の整備・緑化に努め、業界のイメージアップを図るための事業実行が求められています。

また、事業を実行していくためには、労働安全の確保がなによりも重要であり、これまで協会員である各企業においては、死亡災害の発生もなくゼロ災害を継続してきている。引き続き会社一丸となつて安全対策を確立し、災害のない職場づくりを努めて頂きますようお願いいたします。

このあと、議長に岡本副会長を指名し、議案審議の結果、提案されたすべての議案が原案どおり承認されました。

北海道砕石協同組合連合会 通常総会開催される

北海道砕石協同組合連合会通常総会が、五月二十二日（木）、札幌東急インで、全組合ご来賓の出席のもと開催しました。

岡本会長は総会開催にあたり、昨年は、政府のデフレ脱却対策で公共事業予算が増額されましたが、燃料の高止まり、円安による資材・機材の値上がり、電気料金の値上がりにより砕石生産コストがアップし、政府の経済対策効果が中小企業の我々には感じられないところです。

平成25年度の砕石の生産量、出荷量はピークであった平成8年と比べると生産量、出荷量ともに約50%近くまで回復傾向にあり、特にコンクリート骨材の生産量・出荷量がピーク時の80%まで回復してきています。路盤材の需要は回復傾向にあるものの、再生骨材の優先使用や鉄鋼スラグ等の流通もあり、期待したほどの回復傾向が感じられないところでもあります。

また骨材価格については、地域差はありますが値上げ傾向にあると思っております。政府予算は、新年度も公共事業に

手厚い予算となっておりますので、この経済効果を期待するところです。今年度は、軽油引取税課税免除措置継続問題、労災保険料率改定問題などを、道本部や関連する団体と連携し、関係行政機関に対して要請活動を行って参りますので各組合の一層のご協力を頂きたい旨要請されました。

このあと、議長には辻副会長を指名し、議案審議の結果、提案されたすべての議案が原案どおり承認されました。

◇硬石山地区砕石業者連絡協議会 植樹祭開催される

六月十一日(水)硬石山地区砕石業者連絡協議会主催の植樹祭がハラダ産業界(株)の採石事業地で行われました。当日は、野口石狩森林管理署長、松坂主任森林整備官、地元町内会、国有林採石協会関係者、協議会メンバーであるハラダ産業界(株)、昭和採石工業(株)職員、報道機関等十五名が約60本の桜と白樺の苗木を植樹しました。植樹に当たっては鹿食害防止ネットの取り付けを行うなど参加者は額に汗しての作業となりました。

協議会では、採石事業を行うに当たっては、環境保全、跡地緑化、地域との共存に重点をおき事業を

施しており、緑化事業の一環として都市部に位置する硬石山地区では花木類の植栽にも積極的に取り組んでいます。緑化には長い年月を要しますので地域と一体となった植樹活動を継続して下さい。



◇安全標語
「入選」おめでとうございませう

平成26年度安全標語(一社)日本砕石協会

第一位 見る目 気づく目 予知する目

ひとつ先読み 安全作業

札幌支部 大和建設運輸(株) 柏谷清志様

第二位 慣れない作業は慎重に

慣れた作業は気を引き締めて

基本守ってゼロ災職場

札幌支部 岡本興業(株) 黒田瑛二様

平成26年度安全スローガン

「リスクアセスメント」の
定期的な実施で、
災害を未然に防ごう

作業前の「KY活動」で、
事故の防止に努めよう!

「編集後記」

遅くなりましたが、会員の皆様のお手元に、今年度第一号の「北海道砕石だより」をお届けいたします。今年度は、道本部、連合会合同の移動理事會を釧路市で開催いたします。九月十八日に理事會、十九日は合同親睦ゴルフコンペを開催する予定です。釧路支部の皆様にはお世話になります。よろしくお願いいたします。

「北海道砕石だより」発行にあたって、各支部の情報を、ご提供して頂きますようお願いいたします。

(編集事務局一同)

◆平成26年度 採石業務管理者試験準備講習会開催

- 開催日程 年月日 平成26年8月21日(木)~22日(金)
会場 かでる2・7 札幌市中央区北2西7
- 講師 採石法令(一社)日本砕石協会事務局長 毛利敏昭氏
砕石技術 " 専任講師 源田茂男氏
- 講習科目と時間
第1日 法令 9:15~12:15 技術 13:15~17:15
第2日 技術 9:00~16:00 <随時休憩あり>
- 申込締切 平成26年8月8日(金) 定員30名
- 受講料 会員9,000円 会員外10,000円
テキスト代(採石読本) 会員3,240円 会員外6,480円
幹旋書籍①採石業務管理者試験の問題と解説 3,240円
②採石業務管理者試験の受験テキスト 3,240円
問合せ:(一社)日本砕石協会北海道地方本部 担当鈴木
☎011-241-4579 mail:BCB13610@nifty.com
<採石業務管理者試験実施日 H26.10.10(金)各総合振興局>

◆一般粉じん関係公害防止管理者資格認定講習会

- 開催日 平成26年10月24日(金)~25日(土)
- 会場 (株)北海道建設会館 定員50名
- 受講料及びテキスト代
受講料25,000円 テキスト代10,800円 計35,800円
受講資格等詳しくは(一社)日本砕石協会:担当深松
本部☎03(5453)8830 またはホームページを。